

(第1面)

## 特別管理産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 30日

宇都宮市長 佐藤 栄一 殿

提出者 財団医療法人 十全会 上野病院  
住 所 栃木県宇都宮市天神 2-2-15  
電話番号 028-636-2035  
氏 名 病院長 上野 泰彦

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業所の名称	財団医療法人 十全会 上野病院
事業所の所在地	栃木県宇都宮市天神 2-2-15
契約期間	2023年04月01日 ～ 2024年03月31日

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	83 医療業
②事業の規模	許可病床数 103床
③従業員数	83人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	当院 ⇒ 収集運搬業者/株式会社 群桐産業 ⇒ 中間処理業者/株式会社 群桐産業 ⇒ 最終処理業者/株式会社 群桐産業

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 施設管理者 病院長 ⇔ 特別管理産業廃棄物管理責任者/看護部 山田紀子 ⇔ 収集運搬・中間処理・最終処分会社 株式会社 群桐産業			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和04年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	61.571 t	t
	(これまでに実施した取組) これまで、病棟において発生した新型コロナウイルス感染症によるクラスター経験がまだ影響しており、感染管理の意識が多少過分になっていることは否めないが、感染性廃棄物とそれ以外の産業廃棄物の分別廃棄の処理手順の見直しと標準化によって排出削減に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	50t 未満	t
	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物とその他の産業廃棄物の分別廃棄に関する標準化の徹底と、職員向けに処理実績の共有を定期的にリリースすることによる抑制推進を図る		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・注射針、ガラス瓶関係、プラスチック関係 ⇒ プラスチック容器 ・その他の廃棄物 ⇒ 感染性専用段ボール箱 (シーリング)		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 昨年同様に、感染管理委員会および ICT の監視下において分別廃棄を徹底する。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	

	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	<b>【前年度（      年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（04年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	61.572 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	61.572 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者とは、回収時における梱包状況の確認や搬送時の管理状況について、取り扱い事故の発生を未然に防ぐ体制と連携をとってきている。		

②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	50t 未満	t
	優良認定処理業者への処理委託量	50t 未満	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>昨年同様に、委託業者とは感染性廃棄物処理までの一連の取り扱いについて協議する体制を維持するとともに、病棟職員をはじめとした関与職員に対して、感染性廃棄物の適切な分別と取り扱いによって排出削減を図る体制整備を目指す。</p>			
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（04年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	60.571 t	
	<p>(今後実施する予定の取組等)</p> <p>電子情報処理組織の使用については、既に電子マニフェストの取り扱いが完了している。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。